

第6回、登別山岳会・白峰会 親善登山交流会(栗駒山)記録

山行日	H27年10月10日(土)～11日(日) ～12日(月)(登別単独)
山城	栗駒山(1,626m)須川コース / 七時雨山(1063m)田代平コース (登別単独)
参加者計 29人	登別山岳会: 19人 澤田リーダー他会員 白峰会: 10人 佐藤理事長他会員
天候	10日: 晴れ, 11日: 曇りのち時々雨、12日: 曇り時々雨
行程	9日(金) 幌別駅発 16:30、苫小牧フェリー発19:00 10日(土) 仙台港着 10:00、バス移動途中寺見学→真湯温泉コテージ着15:00 11日(日) 宿発 5:30 栗駒登山口6:30～登山(下記)～下山登山口着11:30 12日(月) 宿発6:00 西根寺田登山口9:00～七時雨山縦走～田代平登山口12:30 13日(火) (12日22:00八戸発→) 苫小牧フェリ港着解散 6:00 幌別着8:00

[10月10日土曜]・・・無事仙台港に到着

台風から変わった低気圧の為、北海道は大荒れで8日のフェリーが欠航、9日出港出来るか心配したが船は大きな揺れもなく予定通り仙台港に着く。いつもの十和田山岳会田原さんのバスが到着しており早速、今日の見学場所へ向け出発。高速経由で1時間半、中尊寺入口を通り抜けて「世界遺産 毛越寺」見学。中尊寺は見たが毛越寺は初めての人が多く、本堂、大泉が池を見学してみて、「平泉－仏国土(仏の教えによる平和な理想社会)を表す建築・庭園・遺跡群」で世界遺産に登録されたことが、わかった様な気がした。



十和田山岳会の田原さんのバス、毛越寺に着く



毛越寺拝観入口 蛇もいた



中尊寺入口に有った金色堂

今回の宿は真湯温泉のコテージ、広々とした部屋、フロ、トイレ、寝具付で立派な建物、食事は自分達で、途中で食材を調達したが、すごい御馳走。夜、深堀副会長さん初め白峰会の皆さんと懇親会で親睦を深めた。



宿泊のコテージと豪華料理



白峰会の皆さんとの和やかな懇親会

[10月11日(日)・・・栗駒山(1628m) 須川コース 登山

須川コース 登山

(10月11日)

朝4時、起きてまず空を見る。星空が見える、予想では曇りのち雨、昨日の天気祭りが効いたか？。須川温泉登山口までは狭い曲がりくねった道路を深い溪谷の見事な紅葉を見ながら上がると段々とガスが出てきて、駐車場に着くと風もあり、カッパを着る。さすがは紅葉の名所、朝早く、この天候でも車が沢山。白峰会の皆さんと合流し、三班で登山を開始する。皆さん2日続けての栗駒山でお疲れの所、コース案内、説明をしていただく。源泉の湯でクリーム色ドームの横登山口から登ると10分程で「名残ヶ原」湿原に出る。初夏には高山植物が咲くとの事、今はその通りで、周りの紅葉が綺麗。木道を抜けると、登山道となる。階段等整備されているが、雨のためか泥で汚い。白い沢沿いを登ると登別の地獄谷みたいな硫黄の臭いがする。登り切ると乳白色の昭和湖に出る。昭和19年の噴火で出来たとか。周りにマッチして綺麗だ。休憩後樹林帯を抜けると天狗平に出る。ガスと風が強くなり、頂上へ向かう。

時刻	場所・状況・行動
5:45	真湯コテージ出発
6:30	須川温泉駐車場着
7:00	須川コース登山口 登山開始
8:10	昭和湖
9:25	栗駒山1628m頂上
9:50	下山開始
11:35	須川コース登山口下山着
12:00	交流登山会 解散式
13:30	真湯コテージ着
20:00	ー：ー就寝
登りHr	2:50 (休憩25分含む)
下りHr	1:50



登山口で白峰会の皆さんとC班メンバー



名残ヶ原湿原の木道と紅葉



クリーム色の昭和湖で休憩



栗駒山(1628m)頂上 全員28名で記念写

頂上はいくがす霧で、大絶景と紅葉は見る事が出来なかったのが残念でしたが、下山時、がす霧の晴れ間、遠くに山々が見え一部紅葉も見えました。登山道が約10ヶ所近くもあるとの事、晴れた栗駒山に次回挑戦したいと思います。白峰会の皆さんの心暖かいおもてなしに感謝いたします。ありがとうございました。



太齋会長よりのお神酒、おいしかった



登別山岳会恒例のヤッホー



霧の晴れ間から焼石連峰霧が

翌日、岩手県八幡平市にある七時雨山(1063m)登山をして帰途に着く。

文責 西田